

次に稚三毛野命。

〔考異〕 先生 版本に生を主と誤る、今正す。○神日本磐余彦火々出見尊 丹鶴本、三島本、鴨脚本に火々出見の四字無し。

〔解釋〕 稚三毛野命 稚は稱名、三毛入野命の亦名である。記には、若御毛沼命をば、磐余彦尊の亦御名としてある。

一書曰、先生彦五瀬命、次磐余彦火々出見尊、次彦稻飯命、次三毛入野命。

〔譯讀〕 一書に曰く、先づ彦五瀬命を生みませり。次に磐余彦火々出見尊、次に彦稻飯命、次に三毛入野尊。

〔解釋〕 以上御子等の次第を考ふるに、本書は古事記と、御子等の御名も、次第も、よく符合してある。第一の一書は、異なることは無い。第二の一書には、三毛野命と稻飯命と相換つてをる。第三の一書は、記に磐余彦尊の亦名とあるを別神として、三毛野命を脱した。第四の一書は、磐余彦尊を第二と爲てある。これは平田翁も云はれたやうに、何れが正しといふことは定めかたけれど、記また本書、第一の一書の、よく符合したるに従ふべきである。

日本書紀卷第二講義 終

昭和七年五月五日印刷
昭和七年五月十日發行

日本書紀講義(神代卷)

定價金參圓貳拾錢

著者 田邊 勝哉

發行者 櫻井 榮生

發行所 帝國神祇學會

印刷者 副島 慎夫

印刷所 丹丘舎印刷所

東京市下谷區御徒町二ノ二四

發賣元

帝國神祇學會出版部

振替東京六八九一〇番



Small decorative label or stamp on the left page, featuring a floral or geometric pattern.

618
64

